

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

昭61-134836

⑬ Int. Cl.⁴G 06 F 9/06
12/14

識別記号

庁内整理番号

D-7361-5B
7737-5B

⑭ 公開 昭和61年(1986)6月21日

審査請求 未請求 発明の数 2 (全5頁)

⑮ 発明の名称 ソフトウェア使用制限方式

⑯ 特 願 昭59-256766

⑰ 出 願 昭59(1984)12月5日

⑱ 発 明 者 板 谷 周 東京都港区芝5丁目33番1号 日本電気株式会社内

⑲ 出 願 人 日本電気株式会社 東京都港区芝5丁目33番1号

⑳ 代 理 人 弁理士 柳 川 信

明 細 書

1. 発明の名称

ソフトウェア使用制限方式

2. 特許請求の範囲

(1) 装置固有の装置識別番号情報を記憶する記憶手段を有するデータ処理装置と、プログラムとこのプログラムの実行が可能なデータ処理装置を指定するための実行装置番号情報とを記録してなる記録媒体とを設け、この記録媒体の記録プログラムをデータ処理装置にて実行せしめるべくこの記録媒体をデータ処理装置へ装着した際に前記記録媒体内の実行装置番号情報と前記記憶手段内の装置識別番号情報とを比較して両者が一致したときのみこの記録プログラムの当該データ処理装置での実行を可能としてなることを特徴とするソフトウェア使用制限方式。

(2) 装置固有の装置識別番号情報を記憶する記憶手段を有するデータ処理装置と、プログラムが記録されかつこのプログラムの実行が可能なデ

ータ処理装置を指定するための実行装置番号情報を格納する第1領域及びこのプログラムを他の記録媒体へ複写することの可否を指定するための複写可否情報を格納する第2領域を有する記録媒体と、この記録媒体の第2領域の格納情報可否を示す場合にこの記録媒体が装着されているデータ処理装置の前記装置識別番号情報を前記記録媒体の第1領域へ格納すると共にこの記録媒体の第2領域の前記可否を可にセットする登録手段とを設け、前記記録媒体の記録プログラムをデータ処理装置にて実行せしめるべくこの記録媒体をデータ処理装置へ装着した際に前記記録媒体内の実行装置番号情報と前記記憶手段内の装置識別番号情報とを比較して両者が一致したときのみこの記録プログラムの当該データ処理装置での実行を可能とし、また前記記録媒体の複写可否情報が可にセットされているときのみこの記録媒体の記録情報の複写を可能としてなることを特徴とするソフトウェア使用制限方式。

3. 発明の詳細な説明